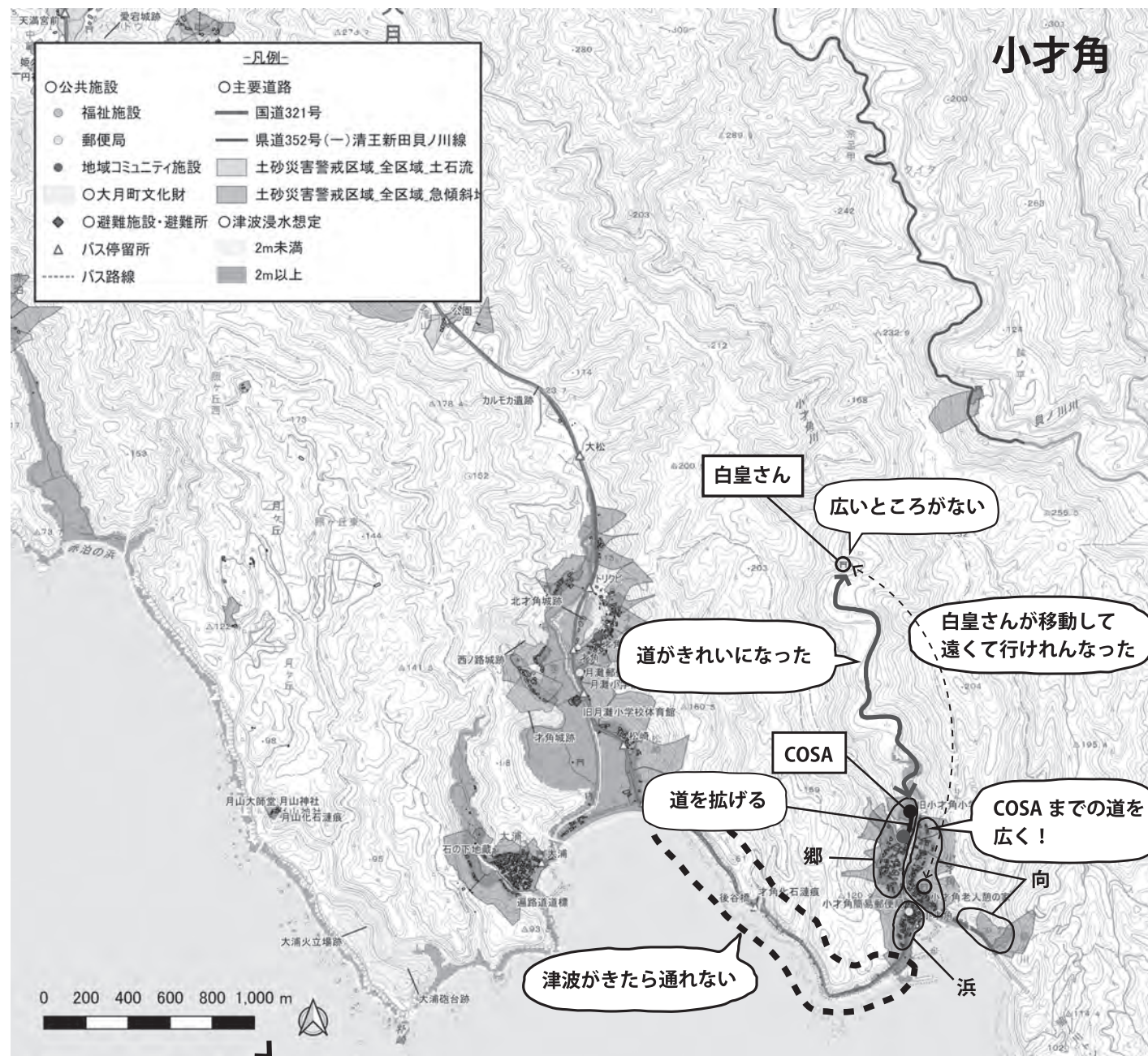




## 『事前復興まちづくり計画策定の流れ（予定）』

令和7年度以降も計画策定にあわせて、継続的に地区での話し合いの場を設けます。皆さまの意見をもとに、地区毎の復興まちづくり計画としてまとめていきます。

※以下は予定のため、今後変更になる可能性があります

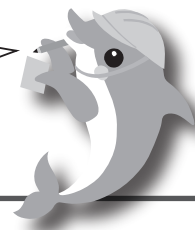
|         | 令和6年度                 | 令和7年度              | 令和8年度              | 令和9年度                |
|---------|-----------------------|--------------------|--------------------|----------------------|
| 計画策定の取組 | →                     |                    |                    |                      |
| 有識者委員会等 | ▼                     | ▼                  | ▼                  | ▼                    |
| 地区での検討  | 第1回（今回）<br>地区の状況を共有する | 第2回（仮）<br>復興目標を考える | 第3回（仮）<br>土地利用を考える | 第4回（仮）<br>地区での準備を考える |
|         |                       |                    |                    | パブリックコメント            |
|         |                       |                    |                    | 計画策定                 |

### お問い合わせ

大月町役場 総務課 危機管理室  
〒788-0302 幡多郡大月町弘見 2230 番地  
Tel : 0880-73-1140 Fax : 0880-73-1380



大月町事前復興まちづくりの様子をホームページやInstagramで発信しています！ぜひフォローしてください！



# 大月町 事前復興 まちづくり かわら版

小才角

第1号

## 事前復興計画に向けた地区座談会を開催。 地区についてたくさんの意見がでました！

2024年12月1日（日）16:00～18:00、小才角憩いの家にて事前復興計画に向けた地区座談会を行いました。

地区座談会では、地区にお住まいの皆さまで改めて地区の状況を共有することを目的に、まずは、被災後も残していきたい「地区の強み・魅力」、復興まちづくりに併せて解消したい「地区の弱み・課題」を出し合いました。

その後、「地区の魅力を伸ばす」「地区の課題を解決する」ためのアイディアを出し合い、最後に「復興まちづくりの方向性」を話し合いました。

今回の結果を踏まえ、来年度以降も地区での話し合いの機会を設けていく予定ですので、今回ご都合がつかなかった方を含め、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。



令和6年度から8年度まで事前復興の取組として、沿岸18地区の皆さまと話し合いを行います。

大月町は東日本大震災後から続けている避難路整備を始めとした町民の皆さまの命、生活を守り繋げる「防災」の取組と併せて、令和5年度より、災害が発生した際にどのように町や地域を復興するのかを予め考える「事前復興」の取組を開始しました。特に、南海トラフ地震による津波で被害の発生が危惧される沿岸18地区において、令和9年度の計画策定を目標に、令和6～8年度までの3年間、地域の皆さまと話し合いをしながら、地区別に復興の形を一緒に考えていきます。



## 大月町役場 小才角の担当職員の紹介

令和9年度の計画策定にむけ、4名の町職員が地区担当職員として地域での話し合いを支援します。



長谷川 亮太 谷 遼 新谷 貴子 松田 祐佳

小才角は私たち4名が担当となります。皆さんといっしょに計画を作るお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いします。

皆さまと話し合った内容を  
2～4ページにまとめています。

## 自然環境が良い！

- 良さ**
- ・自然がきれい（海、川両方ある、川にはエビ、カニ、ウナギがいる）
  - ・魚の種類が豊富
  - ・釣り客がくる
- 課題**
- ・川が汚い（草木が生える 3,4 年前に掃除をした）
- アイデア**
- ・浜の上の大きな木を切ってほしい（自分で切れない木がある）
  - ・定期的に川の清掃を行い維持管理する（生き物が住めるようにする）

## 暮らしのこと

- 良さ**
- ・静か
  - ・女性の活動が活発、元気
  - ・人が優しい
  - ・郵便局がある
  - ・近所と近すぎず、遠すぎない関係
- 課題**
- ・子どもの声がすると珍しく感じる
  - ・人が少ない
  - ・店、自販機がない
  - ・弘見までいかないと買い物ができない
  - ・国道沿いのトイレが汲み取り式で臭い

## 文化のこと

- 良さ**
- ・地区のお祭りがある（春 2 月、夏 7 月、秋 10 月年に回祭りをする）
  - ・神社が多い統合した恵比寿、八幡宮、金毘羅、など（神輿は一か所ある）
  - ・輪投げやモルックなどの活動がある
- 課題**
- ・モルック、輪投げにもっと人が集まってほしい

## 農作物がおいしい

- 良さ**
- ・土が豊かで野菜が良く育つ
- 課題**
- ・鹿やハクビシンなどが多く出て農作物の管理が大変

## 移住者のこと

- 良さ**
- ・移住者が多い
- アイデア**
- ・若い人を増やす・子連れで移住できるようにする
  - ・移住者の仕事（現在）レモンを育てる、保育士など

## 文化教育交流拠点 COSA がある

- 良さ**
- ・COSA がある（若者と知り合える、コーヒーが飲める）  
→COSA ができて賑やかになった、イベントもしている
- アイデア**
- ・地区内の道の拡幅（COSA に行くまでの道、避難道）
  - ・地元の人も利用しやすいCOSAになってほしい



## 防災について

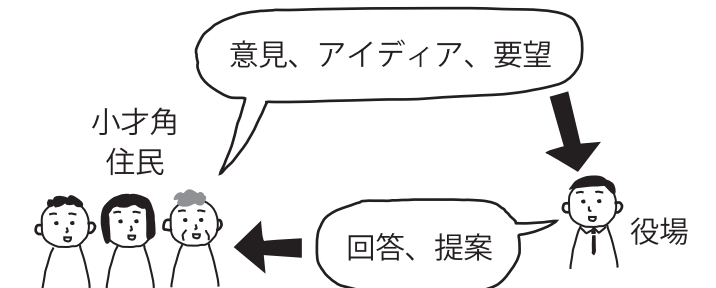
- 良さ**
- ・防災意識が高い
- 課題**
- ・災害に弱い
  - ・道が狭い
  - ・避難道がない
  - ・避難場所までの交通手段がない
  - ・津波が来たら孤立してしまう（避難場所もなく陸の孤島になる）
  - ・地盤が弱い
  - ・崩れそうな箇所がある
  - ・浜の避難道が崩れている
- アイデア**
- ・避難場所がない（台風など）
  - ・避難所にイスなどが欲しい（地べたには座れない）
  - ・避難道の増設、整備
  - ・避難タワーを作してほしい
  - ・津波が来た時にみんなで使えるテントを整備していく（テントは3台以上あるとよい）
  - ・小才角地区の中に避難場所を作る
  - ・ヘリポートがあれば避難も安心
  - ・備蓄倉庫の基礎が壊れているから直してほしい
  - ・船での支援に期待する

## 道路・公共交通のこと

- 課題**
- ・道が少ない
  - ・橋が曲がりにくい
  - ・公共交通がないと出かけることができない
- アイデア**
- ・介護タクシーの料金を安くしてほしい
  - ・バスの便数を増やしてほしい
  - ・バスの待ち時間が長いのでふれあいパークのレストランを復活してやってほしい

## まちづくりの方向性

- 町との連携がとれるまち
- ・今までの地区からの要望の回答が欲しい
- ・防災応用対策の回答がほしい



- 子どもの声の聞こえるまち
- ・子どもが増えて活気のある小才角になるとうれしい

- 防災に備える、安心して暮らせるまち
- ・年 1 回備蓄の見直しと話し合いをする
- ・班での役割を決める
- ・孤立しない小才角にする
- ・地震や津波、いろいろな災害があっても安心して暮らせるようにする・家が流されてしまったら移転する（宿毛などに）
- ・ヘリポート（避難タワー、避難場所の確保）

